時枝誠記博士年譜

（明治・大正・昭和はそれぞれ明・大・昭と略号で示す）

鈴木一彦

明33・12・6　東京市神田区三河町一丁目五番地で、誠之・きくの長男として出生
明40・4　私立暁星小学校入学
大2・3　同　卒業
2・4　同　中学校入学
7・3　同　卒業
8・4　第六高等学校文科入学
11・3　同　卒業
11・4　東京帝国大学文学部国文学科入学
14・3　同　卒業
14・6　第二東京市立中学校教諭
15・4　東洋大学夜間部において国語学概論を担任
日本大学高等師範部において国語学概論を担任
昭2・1・20　第二東京市立中学校依願退職
2・4・5　京城帝国大学助教授
2・5　叙従七位
2・12・21　語学研究法研究の為、英・独・仏・米の各国留学の命を受け出発。
4・9　叙正七位
4・10　留学より帰任。高藤太一郎次女桂子と結婚。
7・9　叙従六位
昭8・4　京城帝国大学教授
10・4　叙正六位
12・8　信濃木崎夏期大学「国語の構造文法及解釈」
13・11　叙従五位
17・7　叙正五位
18・5　東京帝国大学教授
18・6　文学博士
19・1　長女京子誕生
23・2　国立国語研究所評議員
23・2　次女牧子誕生
24・4　学習院大学講師（昭33まで）
24・8　国語審議会委員
26・5　二松学舎大学講師（昭31まで）
27・5　山梨大学学芸学部非常勤講師
27・7　弘前大学文理学部非常勤講師
27・8　信濃木崎夏期大学「言語の機能」
27・9　名古屋大学文学部非常勤講師
28・4　中央大学講師（昭41まで）
30・4　東洋大学講師（昭35まで）
30・8　信濃木崎夏期大学「国語の根本的な諸問題」
31・8　信濃木崎夏期大学「文学・言語の研究」

昭32・4　立教大学講師（昭42まで）
　　駒沢大学講師（昭42まで）
32・8　信濃木崎夏期大学「文章研究の諸問題」
33・4　早稲田大学講師
33・8　信濃木崎夏期大学「文章研究の諸問題」
36・3　東京大学定年退官
36・4　早稲田大学教授
36・4　日本大学講師（昭39まで）
　　叙従四位
　　叙正四位
41・11　紫綬褒章受賞
42・10　叙従三位・勲二等瑞宝章
42・10・27　死去